

1位	たき火	33件	前年2位(32件)
2位	放火(疑い含む)	31件	前年1位(36件)
3位	こんろ	20件	前年3位(15件)
4位	たばこ	13件	前年5位(9件)
5位	火入れ(野焼きなど)	12件	前年4位(12件)



原因1位「たき火」

前年比15件増加

昨年の火災
県内まとめ

鳥取県消防チーム 火災は10件(同16件)は、昨年の県内での火で減少した。火災による発生状況をまとめる死者は前年より7人た。全体で244件発生し、前年に比べ15件増加した。出火原因はたき火が1位だった。種類別にみると、建物火災は141件(前年128件)で前年より増加。車両火災は16件(同16件)で、林野

火災は10件(同16件)で減少した。火災による死者は前年より7人多い11人だった。出火原因は多い順に、たき火33件▽放火(疑い含む)31件▽こんろ20件▽たばこ13件▽火入れ(野焼きなど)12件で、前年1位の放火と2位のたき火が入れ替わった。

県消防チームは「火災が発生しやすい時期。火の取り扱いに注意してほしい」とし、今年6月から義務化される住宅用火災警報器の早期設置を呼び掛けている。